

- 問1 1937年に始まった日中戦争が長期化する中、1938年に制定された「国家総動員法」の内容として最も適切なものはどれか。（2020年 高知県公立入試 類似）
1. 政府が帝国議会の承認なしに、戦時における人的・物的資源を統制・運用できるようにした。
 2. 労働者の権利を保障し、労働三法を制定することで軍需工場での生産意欲を高めようとした。
 3. 内閣総理大臣を軍部の青年将校が暗殺したことをきっかけに、政党政治を終わらせる決定をした。
 4. 社会主義運動や共産主義運動を厳しく取り締まり、国体を変革しようとする結社を禁止した。
- 問2 第二次世界大戦直前、アメリカなどが日本に対して行った、石油の輸出禁止を含む一連の経済的な制限措置を何と呼びますか。その性質を最もよく表したものを選びなさい。（2020年 岐阜県公立入試 類似）
1. 日本国内の産業を保護するために行われた、国際的な技術支援
 2. 日独伊三国同盟の結成を歓迎するために行われた、物資の優先供給
 3. 自由貿易を促進し、世界恐慌からの脱却を目指した関税政策
 4. 日本の軍事行動を抑止することを目的とした経済封鎖
- 問3 1919年に結ばれたベルサイユ条約の内容や、その後の国際秩序について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2024年 山形県公立入試 類似）
1. 日露戦争の講和条約として結ばれ、日本がロシアから樺太の南半分を譲り受けることが決定した。
 2. 第二次世界大戦後の平和を維持するため、この条約に基づいてアメリカに本部を置く国際連合が発足した。
 3. 敗戦国となったドイツに多額の賠償金を課し、軍備を大幅に縮小させるなど厳しい条件を定めた。
 4. 民族自決の原則が徹底され、アジアやアフリカにある欧米諸国の植民地がすべて独立を果たした。
- 問4 パブロ・ピカソが描いた絵画「ゲルニカ」は、特定の歴史的事実を題材とした反戦のシンボルとして知られています。この作品が制作される直接のきっかけとなった出来事の説明として、最も適切なものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）
1. 明治時代の日本における、伝統的な日本美術の保護と再評価
 2. 第一次世界大戦の終結に伴う、国際連盟による平和維持活動の開始
 3. フランス革命の最中に起きた、市民によるバスティーユ牢獄の襲撃
 4. スペイン内戦において、ドイツ軍が都市を対象に行った無差別爆撃
- 問5 第二次世界大戦末期の日本において、戦局が悪化し労働力が不足した際、中学生や女学生が軍需工場などで働くために動員された仕組みを何と呼びますか。また、それと同時期に、空襲を避けるために都市部の小学生が農村へ移り住んだ出来事の名称とあわせて、正しい組み合わせを選びなさい。（2016年 千葉県公立入試 類似）
1. 国家総動員 と 文明開化
 2. 学徒出陣 と 治安維持法
 3. 勤労動員 と 集団疎開
 4. 兵役義務 と 殖産興業
- 問6 1929年にアメリカで始まった世界恐慌により、多くの資本主義諸国が深刻な不況に見舞われる中、ソビエト連邦（ソ連）はその影響をほとんど受けませんでした。当時のソ連が世界恐慌の影響を免れた主な理由として、適切な説明はどれですか。（2015年 鳥取県公立入試 類似）
1. 広大な植民地との間でブロック経済を構築し、他国からの輸入品に高い関税をかけたため。
 2. 五カ年計画などの計画経済に基づき、国家が経済を管理する社会主義体制をとっていたため。
 3. ニューディール政策を導入して公共事業を拡大し、失業者を救済する仕組みを整えたため。
 4. 冷戦の影響によってアメリカとの貿易を完全に遮断し、自給自足の経済を確立していたため
- 問7 イギリスやフランスが世界恐慌への対策として行った「ブロック経済」の内容について、その仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 佐賀県公立入試 類似）
1. ダム建設などの大規模な公共事業を行い、失業者を吸収することで国内の景気を回復させた。
 2. 国家が生産量や価格を決定する計画経済を導入し、資本主義諸国が陥った不況の影響を回避した。
 3. 本国と植民地との間の関税を低く設定する一方で、域外の国からの輸入品には高い関税を課して排除した。
 4. 軍備を拡張して近隣諸国へ侵攻し、資源を確保することで自国の経済を立て直そうとした。
- 問8 1930年代に入ると日本は国際社会で孤立を深め、1940年には新たな軍事同盟を締結してアメリカやイギリスとの対立を強めました。このとき、ドイツ・イタリアとの間で結ばれた同盟の名称を選びなさい。（2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 日英同盟
 2. 日露協約
 3. 日独伊三国同盟
 4. 国際連盟
- 問9 日本の国家予算における軍事費が急激に増大していた1930年代後半の状況において、1937年に発生した盧溝橋事件について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2023年 徳島県公立入試 類似）
1. 南満州鉄道の線路が爆破されたことを中国軍の仕業とし、満州事変を引き起こした。
 2. 北京郊外での軍事衝突を機に、宣戦布告のないまま全面的な日中戦争へと発展した。
 3. ロシアの南下政策に対抗するため、朝鮮半島と満州の権益をめぐって開戦した。
 4. 第一次世界大戦の最中に、中国での権益を強めるため二十一か条の要求を突きつけた。
- 問10 1940年に日本、ドイツ、イタリアの間で日独伊三国同盟が締結されたことによる、当時の国際関係への影響として最も適切な説明を選びなさい。（2021年 香川県公立入試 類似）
1. シベリア出兵の失敗を受け、ソ連との国交を回復させるきっかけとなった。
 2. 第一次世界大戦後の平和体制を維持するため、国際連盟の権限を強化する役割を果たした。
 3. 日本とアメリカ、イギリスなどの欧米諸国との対立が決定的なものとなり、対立構造が明確になった。
 4. 昭和恐慌による経済的混乱を解決するため、欧米諸国との経済協力関係を強化した。
- 問11 ニューディール政策の具体的な取り組みとして、テネシー川流域開発公社（TVA）が設立されました。この事業において、失業者対策と地域開発を両立させるために実施された内容として最も適切なものはどれですか。（2020年 神奈川県公立入試 類似）
1. 農産物の生産量を強制的に増やし、輸出を促進することで外貨を獲得した。
 2. 軍事産業を国有化し、兵器の増産を通じて労働者の賃金を保証した。
 3. 大規模なダム建設などの公共事業を行い、多くの雇用を創出した。
 4. 他国からの輸入品に高い関税をかけ、国内の製造業を保護した。
- 問12 1929年にアメリカで発生した世界恐慌は、日本経済に甚大な影響を及ぼし「昭和恐慌」と呼ばれる事態を招きました。このとき、日本の農村部が深刻な打撃を受けた経済的な背景として、正しい説明はどれですか。（2019年 鳥根県公立入試 類似）
1. 最大の輸出先であったアメリカの景気が悪化したことで生糸の輸出が激減し、繭の価格が暴落したため。
 2. 第一次世界大戦による軍事需要がなくなったことで、造船業や鉄鋼業に従事していた農村出身者が解雇されたため。
 3. 政府がデフレ政策をとって紙幣の発行額を減らしたため、農産物の価格が下落し、農民の借金が実質的に増大したため。
 4. 欧米諸国が日本の綿織物に対して高い関税をかけたことで、都市部の工場が閉鎖され、農村への仕送りが止まったため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 政府が帝国議会の承認なしに、戦時における人的・物的資源を統制・運用できるようにした。	日中戦争の長期化に備え、政府が議会の議決を経ることなく、人や物資を戦争のために動員できる権限を与えた法律です。これにより、国民の生活は戦時体制として厳しく制限されることとなりました。他の選択肢にある「治安維持法」や「五・一五事件」後の流れとは明確に区別する必要があります。
問2	答え 4 日本の軍事行動を抑止することを目的とした経済封鎖	アメリカ、イギリス、中国、オランダ（ABCD包囲網）による石油や鉄鉱石などの輸出制限は、日本の中国侵略や仏領インドシナへの進駐といった軍事行動を阻止するために行われた経済封鎖です。特に石油は軍隊の運用に不可欠であったため、この措置は日本を外交的・軍事的に追い詰める強力な手段となりました。
問3	答え 3 敗戦国となったドイツに多額の賠償金を課し、軍備を大幅に縮小させるなど厳しい条件を定めた。	ベルサイユ条約は、ドイツに軍備制限や巨額の賠償金、領土の一部割譲を認めるなど非常に過酷な内容を課しました。アメリカのウィルソン大統領が唱えた「民族自決」の原則は、東欧諸国の独立には適用されましたが、アジアやアフリカの植民地には適用されませんでした。また、この条約により設立されたのは国際連盟であり、第二次世界大戦後の国際連合とは異なります。
問4	答え 4 スペイン内戦において、ドイツ軍が都市を対象に行った無差別爆撃	1937年、スペイン内戦中にフランコ将軍を支援したドイツ軍の空軍が、バスク地方の都市ゲルニカに対して史上初ともいわれる大規模な都市無差別爆撃を行いました。当時パリにいたピカソはこの非道な軍事行動に対し、芸術家として抗議の意を示すために「ゲルニカ」を描き上げました。これは近代戦における民間人犠牲の問題を世界に知らしめる契機となりました。
問5	答え 3 勤労動員 と 集団疎開	日中戦争から太平洋戦争にかけて、日本では深刻な労働力不足を補うために、本来は学校で学ぶべき中学生や女学生が工場や農村で働く「勤労動員」が実施されました。また、アメリカ軍による空襲が激しくなると、将来を担う子供たちの安全を確保するため、都市部の小学生を親元から離して農村などで共同生活をさせる「集団疎開」が行われました。
問6	答え 2 五カ年計画などの計画経済に基づき、国家が経済を管理する社会主義体制をとっていたため。	ソビエト連邦は当時、国家が生産量や価格を決定する「計画経済」を推進していました。世界恐慌は自由な市場競争を基本とする資本主義経済の中で発生した混乱であったため、世界市場の動きから切り離された経済体制をとっていたソ連は打撃を受けませんでした。むしろこの時期、ソ連は重工業化を推し進め、経済成長を続けていました。
問7	答え 3 本国と植民地との間の関税を低く設定する一方で、域外の国からの輸入品には高い関税を課して排除した。	ブロック経済は、本国と植民地の結びつきを強めることで経済を安定させる仕組みです。域内の貿易を活発にするために互いの関税を下げましたが、これは域外の国（持たざる国）にとっては輸出先を失うことを意味し、国際的な対立を深める一因となりました。
問8	答え 3 日独伊三国同盟	満州事変以降、国際連盟を脱退し孤立を深めた日本は、ファシズム体制を強めていたドイツやイタリアと接近しました。1940年に日独伊三国同盟を締結したことで、日本は第二次世界大戦における「枢軸国」側の中心勢力となり、アメリカやイギリスとの対立が決定的なものとなりました。
問9	答え 2 北京郊外での軍事衝突を機に、宣戦布告のないうまま全面的な日中戦争へと発展した。	当時の日本は軍事費を増大させながら大陸への勢力拡大を推し進めていました。盧溝橋事件による衝突は、正式な宣戦布告がなされないまま、日本と中国との間の全面的な戦争（日中戦争）へとつながりました。選択肢にある柳条湖事件（1931年）や第一次世界大戦時の要求（1915年）、日露戦争（1904年）など、他の対外紛争との時期的な違いを把握することが重要です。
問10	答え 3 日本とアメリカ、イギリスなどの欧米諸国との対立が決定的なものとなり、対立構造が明確になった。	この同盟によって日本は、ドイツ・イタリアとともに「枢軸国」側の陣営に加わりました。これにより、アジアでの勢力拡大を警戒するアメリカや、ヨーロッパでドイツと交戦中だったイギリスとの緊張関係が極限まで高まり、後の太平洋戦争へとつながる外交的孤立を深める結果となりました。
問11	答え 3 大規模なダム建設などの公共事業を行い、多くの雇用を創出した。	テネシー川流域開発公社（TVA）は、ダム建設による治水や発電、土壌改良などの大規模な公共事業を政府主導で行いました。この事業の最大の目的の一つは、世界恐慌で職を失った人々に直接的な雇用の場を提供することにあります。これにより、地域社会のインフラ整備と失業救済を同時に達成しようとしたのです。
問12	答え 1 最大の輸出先であったアメリカの景気が悪化したことで生糸の輸出が激減し、繭の価格が暴落したため。	1920年代の日本にとって、生糸は対米輸出の主力製品でした。しかし、アメリカで世界恐慌が始まると生糸の需要が激減し、その原料となる繭を生産していた日本の農村は収入源を断たれました。これに冷害による凶作などが重なり、農村は欠食児童や身売りが出るほどの深刻な窮状に陥りました。これが昭和恐慌における農村の悲劇の主な要因です。